

## 令和4年度（公社）砂防学会研究発表会「宮崎大会」

### 研究発表会「宮崎大会」実行委員会

令和4年度（公社）砂防学会研究発表会を、下記により開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。なお「砂防学会研究発表会」は、CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます（CPDに関するお問い合わせ先：砂防学会事務局 TEL：03-3222-0747）。

### I. 令和4年度（公社）砂防学会研究発表会「宮崎大会」実施要領

1. 期 日 令和4年5月10日(火)～13日(金)
2. 開催方法 1日目は現地開催（宮崎県内の現場）  
2日目は現地開催（宮崎市内の会場）とオンラインのハイブリッド  
会場：宮崎市民プラザ（宮崎市橋通西1丁目1番2号）  
3日目および4日目はオンライン開催
3. 日 程 下記のとおりですが、今後変更することがあります。

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
5月10日(火) 現地	現地研修会												
5月11日(水) 現地+オンライン	受付	開会式 授与式	特別講演	企画セッション	昼休憩	学会賞講演	学生のための対面発表会						
		行政展示（現地）											
5月12日(木) オンラインのみ	口頭発表				ポスター コアタイム	口頭発表				オンライン交流会			
	ポスター発表・企業展示・行政展示												
5月13日(金) オンラインのみ	口頭発表				ポスター コアタイム	口頭発表				閉会式 (優秀 発表賞 授与)			
	ポスター発表・企業展示・行政展示												

※ 5月11日の「特別講演、企画セッション、行政展示」は、一般公開となります。

#### 4. 現地研修会

「砂防学会誌」第74巻6号（令和4年3月発行）および学会ホームページにてお知らせします。

#### 5. 特別講演（一般公開）

講師：井口正人 氏 京都大学防災研究所火山活動研究センター長 教授

講演内容：火山防災に関する内容

演題につきましては「砂防学会誌」第74巻6号（令和4年3月発行）および学会ホームページにてお知らせします。

#### 6. 企画セッション（一般公開）

##### 「火山防災の最前線」

九州には数多くの活火山が分布し、例えば、桜島では活発な噴火活動が続いており、阿蘇山や霧島山、鹿児島県の離島の火山ではこの10年間にもたびたび噴火が繰り返されている。ひとたび噴火が起こると、直ちに入山規制等が行われることに加え、噴火に伴い発生する現象

やその影響範囲に応じて様々な防災対応が実施される。

こうした防災対応は、火山噴火を経験するたびに直視・向上が図られてきており、次の噴火時に備えてその対応が万全なものとなるよう、最新の技術・知見も取り入れて改善が続けられている。そこで、本セッションは火山防災の最前線と題し、火山噴火に際して砂防分野で実施される調査技術、ハード対策、ソフト対策等の最新の情報を集めて紹介し、今後の火山防災対応について展望したい。

コーディネーター：清水 収（宮崎大学）

#### 7. 学生のための対面発表会

宮崎大会では新型コロナウイルス感染症への対応のため、研究発表は全てオンライン形式としました。しかし、将来を担う学生達がコロナ禍のため学会のリアルな場での研究発表を在学中に一度も経験できていないことに鑑み、希望する学生のために対面での研究発表の機会を設けます。これは口頭発表1会場の規模に限定することで、密を回避した体制で実施します。発表方法は口頭発表で

あり、聴衆は宮崎会場に参加する学会員のほか、オンラインでも配信します。希望する学生は、「Ⅱ. 令和4年度砂防学会研究発表会要領」をご覧ください。

## 8. 申込方法と参加費

研究発表会の参加申し込みにつきましては、学会ホームページの参加申込受付システム（WEB申込）により行います。概要集掲載原稿の投稿を行った方も必ず参加申込みを行って下さい。詳細は「Ⅳ.」をご覧ください。

参加費については後日、学会ホームページおよび「砂防学会誌」第74巻6号（令和4年3月発行）にてお知らせします。

## 9. 研究発表会「宮崎大会」実行委員会

委員長	清水 収	宮崎大学教授
委員	篠原 慶規	宮崎大学准教授
〃	地頭菌 隆	鹿児島大学教授
〃	寺本 行芳	鹿児島大学准教授
〃	執印 康裕	九州大学教授
〃	水野 秀明	九州大学准教授
〃	上小牧和貴	国土交通省九州地方整備局河川部建設専門官
〃	西平 秀明	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所副所長
〃	富永 雄二	林野庁九州森林管理局計画保全部治山課長
〃	行田 明生	宮崎県県土整備部砂防課長
〃	藤本 英博	宮崎県環境森林部自然環境課長
〃	西田 靖	(一社)宮崎県測量設計業協会会長
〃	菊田 真志	(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部宮崎県部会長
〃	杉浦 信男	砂防学会事務局長

## Ⅱ. 令和4年度砂防学会研究発表会要領

### 1. 発表セッション

発表方法は、口頭発表とポスター発表があり、どちらもオンラインで開催します。ただし、企画セッションおよび学生のための対面発表会のみ現地発表とオンラインのハイブリッドで行います。

発表申込の時点で、口頭発表もしくはポスター発表を選択いただきますが、**スケジュールの都合等で発表形式の変更をお願いする場合があります。その判断は実行委員会に一任願います。**口頭発表のセッションでは、企画セッション、テーマ別セッションおよび一般セッションを設けます。企画セッションは前述のとおり、テーマ別セッションは以下のとおりです。

#### 【テーマ別セッション】

#### (1) 極端な気象変化に伴う流域の生産、流出土砂量の増大について

近年の極端な気象変化によって、降雨量が増大傾向を示し、併せて流域の生産、流出土砂量も増大傾向を示す。一方で、流域で想定される移動可能土砂量以上の土砂が流出する場合がある。想定以上の土砂量が移動する要因について事例及びGISによる解析分析結果などから議論する。

コーディネーター：小杉 賢一朗

(京都大学大学院農学研究科)

#### (2) 大規模土砂災害とその後の警戒避難、復旧復興について

毎年、大規模な土砂災害が発生している状況の中、各所で復旧・復興に向けた対策が進められており、その中で砂防事業は、災害直後の応急復旧から恒久対策まで被災地域の復旧・復興に貢献する部分は大きい。また、災害後、一時的に防災に関する意識が高まり避難率が向上するが、時間の経過とともに記憶が風化するとともに、砂防堰堤などの復旧・復興に向けた対策の進捗によって、

住民に過度の安心感を与え、再び避難率が低下することが考えられる。本セッションでは、過去に発生した大規模災害とその後の復旧・復興における砂防事業の取り組み状況ならびに警戒・避難の実態や危機意識の持続方法について情報共有を行うとともに、少子高齢化や人口減少など、現状の社会情勢を踏まえた今後の土砂災害後の復旧・復興に寄与する砂防事業の在り方などについて議論する。

コーディネーター：富田 陽子

(国土交通省国土技術政策総合研究所)

#### (3) 砂防分野における三次元データの活用について

航空レーザ測量やUAVレーザ測量等による三次元計測技術が普及している近年、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」の取り組みの1つとして、測量・調査・設計から施工・維持管理段階まで一連で三次元モデルを導入することで、業務の効率化・高度化を図るCIMの導入・普及が進められている。また、砂防堰堤などの砂防設備の点検をより効率的に進めるために、三次元データを活用する技術開発が行われている。このように、今後も砂防事業において積極的な三次元データの活用が求められる。本セッションでは、砂防分野におけるICT技術の活用として、三次元データの計測・利活用に着目し、現状と課題、今後の方向性について議論するものとする。

コーディネーター：小山内 信智

((一財)砂防・地すべり技術センター  
砂防技術研究所)

学生の対面発表の機会を確保する観点から、学生のための対面発表会を実施します。現地会場で発表をしてもらい、それをオンラインでも配信します。若手優秀発表賞の対象にもなります。学生の皆さんは、指導教員とも

相談の上、積極的にご応募下さい。ただし応募多数の場合は、通常のオンライン発表に変更をお願いする場合がありますのでご了承下さい。

## 2. 発表者の資格

発表者は、発表申込時点および研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限り（グループでの発表の場合は、発表者が会員であることが必要です）。なお、発表者とは、口頭発表では口頭で発表するもの（1名）を指し、ポスター発表ではコアタイムに実際に質疑応答を行うもの（代表者1名）を指します。原則として、発表者としての件数は、企画セッション、テーマ別セッションを含めた口頭発表もしくはポスター発表のどちらか1件とします（発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません）。

## 3. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり、地震や噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土砂災害減災と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限りします。

## 4. 発表方法

企画セッションおよび学生のための対面発表会を除く口頭発表は、Zoomを用いてリアルタイムで行う予定です。ポスター発表はLINC Bizを利用し、事前にコンテンツをアップロードした上で公開し、当日、チャット機能を利用して質疑応答を行う予定です。詳細は決まり次

第、砂防学会ホームページ「令和4年度（公社）砂防学会研究発表会「宮崎大会」」(<https://jsece.or.jp>)に掲載するとともに、発表者に連絡します。

## 5. 発表申し込み

本大会の発表申し込みは、すべて（企画セッションおよびテーマ別セッションも含む）原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。原稿投稿システムには、砂防学会ホームページ「令和4年度（公社）砂防学会研究発表会「宮崎大会」」(<https://jsece.or.jp>)からアクセスできます。電子メールやはがきによる申し込みは受け付けませんので、ご注意下さい。発表申し込みの締切りは、令和4年2月10日（木）です。

## 6. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿もすべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF形式（2MB以下）に変換して投稿して下さい。ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。

提出期限は令和4年4月8日（金）です。提出期限以降は受け付けられませんので、期限厳守をお願いいたします。なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。参加申し込みは別途行って下さい。

## 7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1  
宮崎大学農学部 篠原 慶規  
e-mail : [shinohara@cc.miyazaki-u.ac.jp](mailto:shinohara@cc.miyazaki-u.ac.jp)

## Ⅲ. 砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷・配布は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後、砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上、鮮明な原稿の提出をお願いします。

### 1. 原稿書体

原稿は原則としてMSワード等のワープロソフトで作成して下さい。

### 2. 原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし、上15mm、下25mm、左20mm、右10mmを確保して下さい。1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは10ポイント以上とします。

### 3. 原稿枚数

2ページとします。1ページあるいは3ページ以上は受け付けません。

### 4. 題名および氏名

題名および氏名は必ず発表申し込み時と同一にして下さい（齟齬があった場合でもプログラムの修正は原則行いません）。題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名（連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける）を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。1行あけて本文を書き始めて下さい。

### 5. 使用する文字

使用する文字や仮名遣いは、原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って書いて下さい。

### 6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始めて下さい。

## 7. 文字の割付

句読点, ( ), :, 引用記号および1桁アラビア数字には1マスをあて, アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあててください。

## 8. 見出し番号

本文の章, 節等には次の記号を使用して下さい。

章 1, 2, 3

節 1.1, 1.2, 1.3

節以下 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3

## 9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげてください。

## 10. 図表・写真

図表・写真はすべてクリアにし, 原則として本文の間

の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは, その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。

## 11. 原稿の PDF 化と取り扱い

完成した原稿は, PDF 化ソフト(例えば, Adobe Acrobat 等)を用い, フォントを埋め込んだ PDF ファイル(2 MB 以下)を作成して下さい。原稿にはページ番号を入れないうで下さい。なお, PDF 化された原稿からそのまま概要集を作成しますので, 不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

## 12. 原稿作成要領に関する問い合わせ

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-24

鹿児島大学農学部 寺本 行芳

e-mail: sabot@agri.kagoshima-u.ac.jp

## IV. 令和4年度(公社)砂防学会研究発表会参加申し込みのご案内

### 1. 参加申込み

参加の申し込みは, 砂防学会ホームページから行って下さい(WEB 申込)。WEB 申込ページの入力フォーマットに従って直接入力して下さい。団体の場合も, WEB 申込をして下さい。見積書, 請求書は WEB サイトから出力できるようにいたします。クレジット決済, コンビニ決済, あるいは銀行振り込みをご利用下さい。

領収書は学会にて入金を確認した後に WEB サイトから出力できるようにいたします。

受付期間は令和4年4月4日(月)(予定)から4月27日(水)までで, コンビニ決済ならびに銀行振込の入金期限は5月6日(金)です。

### 2. 申込締切日

令和4年4月27日(水)

### 3. 申込み後の変更・取り消しについて

申込み後に変更・取り消しが生じた場合は, 学会事務局までご連絡下さい。

E-mail: sabo274@abox3.so-net.ne.jp

### 4. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については, 連絡のために利用させていただくほか, 申し込みいただいた「令和4年度(公社)砂防学会研究発表会「宮崎大会」」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

## 【申し込み・入金】

申し込みのステップ	内 容
①砂防学会ホームページ	<a href="https://jsece.or.jp/">https://jsece.or.jp/</a> 「令和4年度(公社)砂防学会研究発表会宮崎大会」のページに, 申込専用ページへのリンクが掲載されます。
②お申し込み	入力フォーマットに従って直接入力して下さい。 ※送信後, 自動返信で受け付け確認が送信されます。
③見積書・請求書	参加費の見積書および請求書は申込専用ページから出力できます。
④参加費のお支払い	クレジット決済, コンビニ決済, あるいは銀行振込をご利用下さい。 銀行振込をされる場合の振込手数料は申込者負担となります。
⑤領収書および参加票	学会が入金を確認しましたら, 申込専用ページから領収書および参加票(研究発表会)が出力できます。
⑥Zoom および LINC Biz 利用情報の連絡	入金確認後, Zoom および LINC Biz の利用情報を申込時に指定したメール宛に連絡します。
⑦変更・取り消し	学会事務局までご連絡下さい。sabo274@abox3.so-net.ne.jp ※入金後の返納不可

※参加申込期間は令和4年4月4日(月)～令和4年4月27日(水)の予定です。

◆お問い合わせ先

「令和4年度（公社）砂防学会研究発表会」事務局  
住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 A 棟 3 階  
公益社団法人 砂防学会 事務局  
FAX 03-3230-6759 受付時間：月～金 10：00～16：00  
ホームページ <https://jsece.or.jp/>  
E-mail : sabo274@abox3.so-net.ne.jp

◆発表・参加申し込み模式図

